

山 弓 連 令和4年第1号

令和4年4月 発行：山梨県弓道連盟

ウイズコロナへの転換、課題への対応、

平和であってこそその「弓道」

山梨県弓道連盟会長 菊池敏彦

令和2・3年度と、新型コロナウイルス感染拡大による様々な行動制限により、日常生活が大きく影響を受けた二年間となってしまいました。感染により亡くなられた方々、後遺障害に苦しんでいる方々には、心からお悔やみとお見舞いを申し上げます。令和3年度は感染予防対策やワクチン接種が進み、昨年10月以降感染者数が大幅に減少し、いわゆる「日常」がとりもどせるのかと期待したのも束の間、新たな変異株の登場で山梨県内においても、連日三桁の感染者数が報告されているのが現状です。県内の弓道行事も、9月や1・2月の行事が中止を余儀なくされてしまいました。

そんな中、令和4年度の県内弓道行事を展開するにあたり、3月の総会・理事会において、感染者数が多い現状が続くものの、感染予防策を徹底して施しながら、できる限り中止や延期の措置をとらず実施する方向、いわゆる「ウイズコロナ」を、「新しい日常」として動くことを確認したところです。各種大会、講習会、審査会が年度当初の計画通り実施できることを願うばかりです。

さて、県連の引き続きの課題は会員数の増加にあります。弓道教室を今年も開催しますが、教室終了後の受け皿として各道場の受け入れが不可欠となりますのでよろしくお願いします。加えて、新たな県連の課題が2つあります。第一点目は会費に関してです。平成26年度、全日本弓道連盟の分担金が増額をされました。会員数一人につき1,000円が課せられ、従来の額に約40万円の負担増となりました。その当時、様々対応を協議した結果、会員にそのまま負担してもらおうわけにはいかないことになり、お弁当をおにぎりにしたり、役員旅費を減額したりと、支出を極力減らすことで乗り切ってきた経緯があります。しかし、

令和3年度から、突然、全日本弓道連盟の分担金がさらに増額となり、会員数一人につき倍額の2,000円となりました。これにより、新たに約40万円の増額となりますが、このことへの対応について、今年度中に結論を出さなければなりません。第二点目は、ブロック・支部ごとの会員数の開きが大きくなったことへの対応です。初射会や納射会での演武担当（各ブロック）や、各大会審査会での当番担当（各支部）での負担感の軽重を生じさせないために何ができるか対応することが課題となります。この二つの課題に関して、会員各位からの積極的なご意見とご協力をお願いします。

さて、世界に目を向けると、コロナ渦に加え、ロシアによるウクライナ侵攻の惨劇が加わりました。連日、何の非も罪もないウクライナ市民が殺害され傷つき、街が破壊され色が失われていく映像が伝わってきます。力による国境等の現状変更は決して許されてはなりません。一日でも一分一秒でも早い停戦の実現を望むばかりです。世界が平和であってこそその「弓道」です。また、世界の平和を願うのも「弓道」です。コロナ渦が終息し、戦火が収まることを願いつつ、令和4年度を良い年にしていきたいと思います。

令和3年度定期総会

令和4年3月20日、山弓連定期総会が開催された。議案審議に先立ち、会長表彰として、望月孝美氏（南アルプス支部）に山弓連功労賞が贈呈された。



授賞された
望月さん



議事審議については、令和3年度事業報告、決算・監査報告、および令和4年度事業計画(案)、予算(案)が審議され、付議内容通り議決された。なお、支部改変の件、全弓連分担金の件については令和4年度中に検討することとした。

寄稿

若草弓道場の軌跡と感謝を込めて

南アルプス支部
内藤良太

私たち南アルプス支部は白根弓道場と若草弓道場の2つの道場で活動しています。この度、支部員たちの活動を支えている若草弓道場が、若草保育所移転に伴う区画整備のため閉鎖と取り壊しが決定しました。この決定事項に支部員は大いに落胆し、どうにかして道場を残してもらえないかいくつも交渉を重ね全力を尽くしましたが、残念ながら覆ることはありませんでした。そこで、最後に若草弓道場について何か形を残したいという思いから一筆取らせていただき、寄稿した次第であります。

若草弓道場は旧若草町総合スポーツ公園内に昭和60年に竣工しました。旧若草町の弓引き達の拠点として古屋浩元先生を中心に今日まで活動してまいりました。道場の奥行きこそありませんが、その他の利便性の良さから、特に矢数を必要としている国体選手などを中心に重宝される道場となっています。

一時期、利用者数が下火になったこともありましたが、平成28年頃から若い弓引き達が利用を始めたことをきっかけに利用者が増加したことで息を吹き返しました。現在では、練習日の火曜日と木曜日以外にも利用が活発になり、ほぼ毎日誰かが稽古に励んでいます。その甲斐あってか若草弓道場を利用している支部員から、関東大会や全国大会の山梨県代表選手や昇段者を多く輩出しています。

私自身も大学卒業後、東京から戻り地元である南アルプス市での稽古場として若草弓道場には大変お世話になりました。これまで国体をはじめとする県外大会への出場や県内大会での入賞などいくつも実績を挙げられたのは、ひとえにこの道場が力を貸してくれたものだと思っております。若草弓道場が活気に満ち溢れている中、今回の決定は秋風落莫、胸に穴を開けられたような気持ちとなりました。この道場で支部員の仲間と共に汗を流し、技術を高めあった日々を決して忘れず、道場の存在が忘れ去られないように、その記憶を紡いでいく事が、私たち支部員の使命だと実感しています。

ここに若草弓道場への想いを記し、感謝を申し上げます。今まで本当にありがとうございました。そして長い間お疲れ様でした。



ありがとう！ 若草弓道場射会



大会結果

令和3年度オンライン全国弓道大会

令和4年3月13日(日)小瀬武道館弓道場
全競技をオンライン上で実施する大会が全国から
37地連の参加で開催された。

競技は各地連の道場で行われ、競技の様子は
オンラインで接続し、同時進行でおこなわれた。

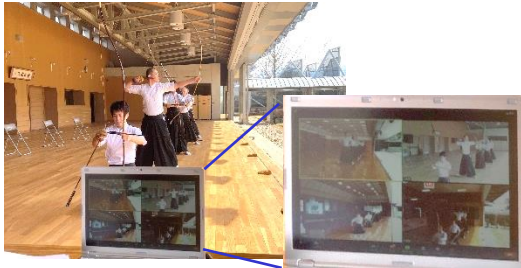
競技方法：5人立 各自4射1回にて上位16
チームが決勝トーナメント進出。
決勝トーナメントは4射1回の
トーナメント戦

【結果】

山梨県チーム

内藤 良太 五段 (南アヅス)
上條 剛央 錬六 (上野原)
山本 栄子 四段 (北杜)
小林 好雄 五段 (大月)
山下 弘行 錬六 (山梨)

- ★ 予選14中にて決勝トーナメント進出
- ★ トーナメント1回戦にて岡山県チームと
対戦したが惜しくも敗退。



4地連が同時行射、的中状況も同時共有

令和4年 初射会

令和4年1月9日(日)小瀬武道館弓道場

射数 祝射一手と四ツ矢 計6射

参加申込人数 68名 参加者 60名

順位	氏名	支部名	段位	的中数	競射結果
優勝	内藤 良太	南アヅス	五段	6	○
2位	進藤 高	甲府	五段	6	×
3位	渡辺 啓和	富士吉田	式段	5	

3位 5中者4名による遠近競射



菊池会長
矢渡し



郡内アヅス
代表者による
演武



昇格者による答射礼
高埜 よしみ (甲州)
望月 勝男 (身延)



入賞されたみなさん

ねんりんピック大会 県予選

令和4年4月10日(日)小瀬武道館弓道場
令和4年11月12日~15日 神奈川県秦野市
で開催される、標記大会の代表選手選考会が開催
され、以下の代表選手が決定された。

区分	氏名	称号・段位	支部名
選手兼監督	古屋 清記	錬士 五段	山梨
選手	市川 明	錬士 五段	笛吹
選手	柳本 武彦	錬士 六段	甲斐
選手	森岡 博文	錬士 六段	甲州
選手	小林 睦美	錬士 五段	北杜
補員	渡辺 優	四段	富士吉田
補員	依田 保	参段	富士川
補員	大木 政子	参段	富士川

全日本勤労者弓道大会 県予選

令和4年4月10日(日)小瀬武道館弓道場
令和4年6月11日、12日 東京都中央道場で
開催される標記大会への県代表チーム選考予選会が
開催され、2チームが選抜された。

チーム名	選手名	的中	合計の中	競射	
石原工業A	織田 学	2中	2中		
	久高 玲人	0中			
横河電機A	五味 峻太郎	5中	12中	○	
	奥石 大樹	3中		×	
	鮫島 誠一	4中		×	
小林商事	渡辺 昌彦	5中	15中		県代表
	桑原 良	4中			
	小林 裕一郎	6中			
横河電機B	宮下 宝	0中	3中		
	石田 大紀	3中			
石原工業B	根津 里美	7中	12中	○	県代表
	藤本 航也	1中		×	
	神田 英彦	4中		○	



各部入賞者



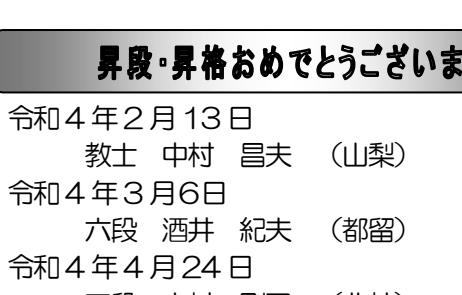
参段以下の部



四段の部



五段の部



称号の部

段位別 兼 全日本・関東選抜

一次予選

令和4年4月17日(日)小瀬武道館弓道場
 コロナ感染予防のため午前中に参段以下、四段の部および五段の部、午後から称号者の部とした2部制での開催となった。また本大会で4中以上は5月29日の2次予選に進出。結果は以下のとおり。

射数 4矢2回 計8射

参加申込人数 23名

参段以下の部

順位	氏名	支部名	段位	的中数	競射結果
優勝	渡辺 啓和	富士吉田	初段	6	
2位	依田 保	富士川	参段	5	遠近競射による
3位	赤澤 英里	甲府	参段	5	

参加申込人数 18名

四段以下の部

順位	氏名	支部名	段位	的中数	競射結果
優勝	秋山 杏梨	南アルプス	四段	6	
2位	久村 泰祥	上野原	四段	5	遠近競射による
3位	五味 峻太郎	甲府	四段	5	

参加申込人数 22名

五段以下の部

順位	氏名	支部名	段位	的中数	競射結果
優勝	桑原 良	富士吉田	五段	6	
2位	内藤 良太	南アルプス	五段	5	5名の遠近競射による
3位	長澤 和久	南アルプス	五段	5	

参加申込人数 31名

称号の部

順位	氏名	支部名	段位	的中数	競射結果
優勝	鮫島 誠一	甲府	錬士六段	7	○
2位	上條 剛央	上野原	錬士六段	7	×
3位	高部 保延	都留	錬士五段	6	4名の遠近競射による

昇段・昇格おめでとうございます

令和4年2月13日

教士 中村 昌夫 (山梨)

令和4年3月6日

六段 酒井 紀夫 (都留)

令和4年4月24日

五段 大村 剛司 (北社)

編集後記

ウイズコロナの社会体制に移りつつあります。今までと異なった方式での運営も一般化しつつあります。感染対策をしながら多くの行事が開催されることを望みます。

koho39ren@kyudo-yamanashi.com (綿奈部)